

総合質管理(TQM)部ニュース

2025年6月号(第23号)



今月は、医療安全管理課と感染管理課より報告です。

出来事報告、正しく書けていますか？【伝わる報告書で未来の医療安全を創ろう！】

何故、報告書を書くのでしょうか？

文責：今村里美（医療安全管理課）

目的は【再発防止】と【改善】です。単なる記録ではなく、次に生かすための重要な情報源です。

必須記載事項を漏れなく、記載する項目もよく見て入力しましょう。

事象の内容は、【何が】起こったのかを簡潔に、しかし具体的に。例：“誰が、何を、どうした”を明確に。

原因の考察の欄には【なぜそうなったのか？】その判断に至った背景を入力しましょう。

「人」「物」「情報」「環境」など、多角的な視点から要因を分析し、記載しましょう。

例：具体的な状況や心理状態も記載すると、より深く分析できます。

改善策欄には「今後どうすれば良いか？」を明確に。反省文ではなく、改善策を記載しましょう。

例：「今後は気をつけます」ではなく、「〇〇のダブルチェック体制を導入する」「〇〇の薬剤配置を見直す」など、誰が、いつまでに、何をするかまで具体的に。



“伝わる”表現のポイント

- **簡潔に、具体的に**：曖昧な表現は避ける。
- **客観的に**：事実に基づき、推測や感情は含めない。
- **時系列で整理**：読み手が状況を把握しやすいように、流れを意識する。
- **「5W1H」を意識する**：いつ(When)、どこで(Where)、誰が(Who)、何を(What)、なぜ(Why)、どのように(How)を明確にする。

報告書は、あなたの「気づき」と「改善への意思」を伝える大切なツールです。
皆で学び、より安全な医療現場を目指しましょう！



感染管理課

マスク着用について考えよう

5月より当院は、「院内でのマスク着用は個人の自由」となりました。つまり、マスク着用の基準はコロナ渦前に戻ったということです。コロナ渦前、院内でマスクはどんな時に付けていましたっけ??? 今あなたが付けているマスクは、感染対策として本当に正しく使用出来ていると思いますか? 今回は、改めてマスク着用について考えてみましょう。



みんなマスクを付けてるし・・・
顔を出すのが恥ずかしいなあ・・・
今日お化粧してなくて・・・
家族がコケ、イッパに罹患している

今付けているマスクは、ほとんどが**周囲が付けているから**着用しているようです

マスク着用の本来の目的は・・・?(感染対策視点)

① 自分が持っている病原菌を拡散させないため

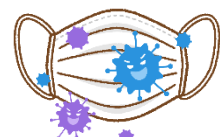
② 相手の飛沫から自分の鼻と口を守るため

正しい感染対策を考えましょう！相手から飛沫を防ぐ場合

例えば、喀痰吸引
※飛沫を吸い取る処置



吸引後、マスク表面は
菌が付着している



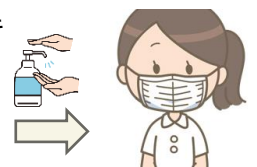
マスク表面は、菌が付着

もともとマスク着用している
場合
処置前に**2重マスク**が必要



マスクをハキ

1枚目のマスクをハキ



あなたの笑顔で
患者さんは
元気がますね！